

未来を守るための 環境にやさしい印刷って?!

大台ヶ原(奈良県)

大台ヶ原では、ドライブウェイ開通や登山客増加で進行する山林の荒廃を防ぐため、環境省が07年9月から入山人数の制限を開始。しかしこれは観光客減による経済的な影響を憂慮した地元の反発によって、中途半端な妥協案となってしまいました。「観光」か、「保護」か。難しい問題です。



エコロジーを、エコビジネスを考える

ECOの目

印刷に再生紙を使用したり、インキの原料に大豆由来成分を含んだSOY INK(ソイ インク)を用いたり……。環境にやさしい印刷物を手にする機会は昔に比べ増えているようですが、印刷業界とエコロジーとの関わりは、今、どのように動いているのでしょうか。

今号のテーマ

水と空気をキレイに保つための印刷業界の取り組みってどうなっているの？



皆さんは、環境にやさしい印刷方法で作られていることが一目で分かる環境保護マーク「クリオネマーク」をご存知でしょうか？印刷会社がこのマークを取得するためには、印刷工程で排出されてしまう現象廃液を出さないような印刷設備を導入したり、インキを大気にやさしいノンVOCインキに切り替えるなど、環境に配慮したさまざまな取り組みが必要となります。このような動きがある一方で、顧客から印刷会社へのリクエストは「環境に気を配るよりも、スピードと安さが命」という声が大半。大手印刷会社をはじめ、業界全体が“お金をかけてでもエコに配慮する”ことが厳しいのが現状のようです。そのような状況下で、関西ではまだ数社、全

国でも約20社ほどしかない、クリオネマークのなかでも最高基準の「ゴールドプラス」を取得した株式会社ラピトさん。環境に対する印刷業界の今後の展望も含め、思いをうかがいました。



※ クリオネマーク E3PA (環境保護印刷推進協議会) が定めた登録基準に準じて製作された印刷物に表示されるもので、印刷業界全体の環境への意識を高めることを目標にしたマーク。シルバー、ゴールド、ゴールドプラスがある

INTERVIEW

株式会社ラピト

<http://www.rapit.co.jp>
<http://www.net-duo.com>

飲食店のポップ、大判ではタペストリーなどの印刷も手掛ける印刷会社。オフセットの4色印刷はすべて、環境にやさしいエコインキなどを使って刷り上げてくれる。



株式会社ラピト 代表取締役社長 高岡明彦さん

「印刷業界って環境にやさしいんだ！」そう思わせるような提案を私達から発信したい。

企業が“環境と共存していく”そんな時代の先駆者を目指す。

来年で創業10周年を迎える株式会社ラピト。同社では、約3ヶ月という短期間の間にクリオネマークのシルバー、ゴールド、最後には最高基準“ゴールドプラス”を取得するという偉業を成し遂げました。「創業10周年を機に、私達の仕事から“つぎ(未来)につながる”何かを提案したかった。それが、エコだったのです」。高岡さんの思いはすぐにスタッフへと波及し、現場主導でエコへの思いがカタチになっていったそう。「印刷の現場でキレイな空気と水を守るのは大変です。設備投資をするなど、コストもかかります

しね。しかし、一般的にはデメリットだと思われるところに、あえて取り組む。そこに、私達企業への付加価値を感じ取って欲しいですね」と、高岡さん。最近では企業としての考え方や取組みをまとめた「0のおはなし」というリーフレットを作り、取引先などに紹介している。そのおかげで、納期、クオリティ、値段などの面でも納得されることが多くなったそうだ。今後の展望として「エコに取り組むのは大変ですが、未来のために“環境と共存”していかなければ。そのために、私たちがモデルとなって発信し、周りを、ひいては印刷業界全体のエコに関する価値観を変えたいです」と、目標を語ってくれました。印刷業界は環境にやさしい——そんな時代はもうすぐやって来るのかもしれないね。

リーフレット『0のおはなし』

『0のおはなし』のなかには、廃液や石油系溶剤、間伐材紙についてなど、株式会社ラピトの取組みを分かりやすく紹介している。



株式会社ラピト探検隊



株式会社ラピトの工場には、遊び心がいっぱい散りばめられている。壁を破り姿を見せている「鉄人28号」をはじめ、会議室などにもフィギュアをディスプレイ。社長である高岡さんが、海外などから買い付けてきた希少な品が並ぶ。

取材を終えて

環境に配慮した印刷インキなどを使用することだけでなく、業界全体を考えた取組みが行われていることは、たいへん素晴らしいことだと思いました。印刷を依頼する側からもこういった取組みが広がることを期待します。



吉田 建二 (よしだけんじ)

FECO FLASH

今号のエコニュース

企業の間ではもはや常識に! 「CSRレポート」、続々登場中。

皆さんは、CSRという言葉をごぞんじですか? CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略で、日本語では一般的に「企業の社会的責任」と訳される言葉。「企業は経済だけではなく、社会や環境に対しても有益な存在でなければならない」という考えに基づき、各企業がいかにしてその責任を果たしているかをまとめたものがCSRレポートです。上場企業では当たり前のように作成され、企業サイトなどで閲覧や取り寄せができます。



CSRレポートは誰でも無料で取り寄せすることができます。

「企業の社会的責任」って何?

あなたは読んだことありますか? 企業のつくる「CSRレポート」

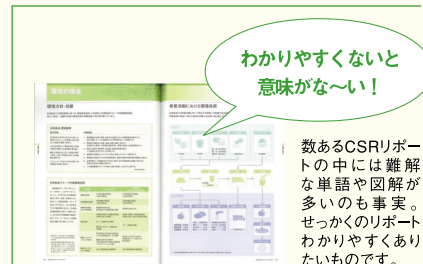
2007年は近年でもまれに見るほど、企業の不祥事が多発した1年でした。食品の産地偽装、賞味期限の偽装…もう枚挙に暇がありません。こうした問題は企業倫理の破たんが最大の原因ですが、CSRの概念がまだまだ浸透していないことも一因かも知れません。

CSRは企業が営利目的で行うPR活動などとは違い、企業がいち市民として、社会と一緒に持続可能な社会をつつていくための活動の概念のこと。細かく言うと、「環境」をはじめ、労働安全や衛生、従業員の権利、地域の雇用創出、品質といった幅広い分野での取組みについて、株主や顧客はもちろん広く社会一般に対して「説明」する責任があるとされています。

近年、日本の上場企業ではこの概念が浸透し、たくさんのCSRレポートが作成されるようになりました。しかし一方ではCSRが十分な利益を生んだ企業が行う社会貢献活動だと勘違い

されることが多く、売上の小さな中小企業ではほとんど浸透していないのが実情。早く意識改革しなければなりません。

なお、今回の記事作成のために取り寄せたCSRレポートのうち、マクドナルドやホンダなどはとてもわかりやすく、資生堂はイラストをふんだんに使っていたりして一般人にも読みやすい仕上がりに。よいお手本です。



数あるCSRレポートの中には難解な単語や図解が多いのも事実。せっかくのレポート、わかりやすくありたいものです。

スタッフコメント



梶本 亜季(かじもとあき)

イギリスやフランスでは国の産業政策としてCSRを推進するなど、企業の長期的な安定性や成長性が世界的に重視されています。日本でも企業の社員一人一人が、企業の活動を通して何ができ、何をしたいのかを、少し立ち止まって目を向けていかないとけませんね。



中国発・面白現地情報コラム!

こちら中国支局です vol.4

★ FUKUNAGA CHINA BRANCH ★

中国にも到来! マイカーブーム

さて今回は、中国で進んでいるマイカーブームを紹介いたします。10年前、上海市内を走っていたのはトラックやバスが大半で、タクシー以外の乗用車といえば政府公用車か企業の社用車ばかりでした。その後、規制緩和によって90年代中頃にマイカーブームが到来。2001年以降は輸入車が増加し、世界中のメーカーが進出中で、一部では、2010年には日本の生産台数を抜いて900万台を超えるという予測も!

上海市内では朝夕の交通渋滞がひどく、特に金曜の夕方ともなると、深夜なら10分の距離が30分以上かかることもあります。運転マナーも日本に比べて荒々しく、交差点では50cmの隙間でも割り

込むわ、譲ろうともしないわで渋滞は一層ひどいものに…。行政は市外で登録された自動車の高架道路進入を禁止する規制をして対策をとっています。一方、郊外は快適で、新しい住宅街では駐車場も整備。オートボックスなどの自動車関連ショップも出現しはじめました(品揃えやサービス面にはまだまだ改善の余地がありますが…)。今後はマイカー客向けのレストランやショッピングセンターが道路沿いに増えてくるでしょう。



オートボックスの外観は日本とほとんど同じ。



日本のマークXは、「レイク」という中国名で約300万円で販売中。



Reporter Profile

鐘蓓青(しょうはいせい)
来日して13年。7年間勤務していたフクナガエンジニアリングのリサイクル技術を活用して、現在は日本・中国間の環境ビジネス(主にプラスチック)に従事している。

● 防災意識啓発スペシャルコラム ●

備えあれば + 憂いなし!

まもなく、阪神大震災が起こった1月17日がやってきます。FECONEWSでは今回、これを機に読者の皆さんに防災への意識を新たにさせていただくコラムをご用意しました!

あのビスコが3年間保存OKの缶詰に!

グ リコの「ビスコ」といえば、時代を超えて愛され続けている名作お菓子。老若男女問わず、誰もが一度は口にした経験があるでしょう。おなかにやさしい乳酸菌が、ビスコ5枚あたりに1億個(!)も入っていて、カルシウムやビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンDもたっぷり。

そんな栄養満点のビスコが、なんと3年間の長期保存ができる防災対策用の缶詰になっていたのです! 災害時は食べものが不足し、エネルギー補給が困難なだけに、手軽に栄養がとれるビスコがあると大助かり。缶詰にはビスコ5枚を包んだ袋が6つ入っており、家族

でわけやすくなっています。しかも、クリームをサンドしているので、幼児から高齢者まで幅広い年齢の人に食べていただけます。非常食と聞くと何だか味気ないパッケージの食品を連想しがちですが、ビスコのかんづめは慣れ親しんだポップで明るいデザイン。おまけにビスコ坊やのステッカーもついていて、気分も明るくなりますよ!

ちなみに余談ですが、おなじみのビスコ坊やの顔、実は初代から数えて5代目だっただこと、知ってました? 初代と比べると、5代目は欧米の人っぽい顔つき。日本人の顔つきの変遷を見るようで、興味深いですね。



「ビスコのかんづめ」
500円(税別)※



初代のビスコ坊や
(昭和8年~昭和25年)



現在のビスコ坊や
(平成17年~)

※全国17店舗の「ぐりこ・や」で販売しています。
<http://www.ezaki-glico.net/glicoyay/>

お客さまに聞きました
VOICE vol.04

私たち、フクナガエンジニアリングがお取引させていただいている企業の事業内容をご紹介します。私たちの製品がお客様にどのように活用されているか、実感してください。

**私たちの暮らしの安心を支える
事業の合言葉は「LIFE SAVING」!**

タカヤマ金属工業株式会社様は、「LIFE SAVING」を合言葉に、屋根用の金物や建物の基礎部分で使う金属製品の製造・販売を行っています。こうした製品は、普段あまり目にしないものですが、暮らしの安心には不可欠なものばかり。私たちの生活を支える、まさに「LIFE



フクナガのソフトバッグは製品を入れる網カゴに使用していただいています。

**道路のボランティア清掃をはじめ
高い意識でエコ活動を実施中!**

今月のお客様

タカヤマ金属工業株式会社(美原工場)

大阪府堺市美原区黒山154-1
☎072-362-3781
<http://www.takayama-kk.co.jp/>

SAVING」そのものです。当社ではフクナガのソフトバッグが活躍中。ご担当者様いわく、「価格・丈夫さ・使い勝手といった面で、とても満足しています」とのこと! 本当にありがたいです。

そんな同社は、人や自然にやさしい道路環境づくりを行うアドプト・ロード・プログラム(大阪府)に参加。月2回、会社前の道路をボランティアで清掃しているそうです。また、コピー用紙の使用量削減のため、基準年からの削減割合も算出中! 「A4の紙をハサミで切ってA5にするなど、何とか削減しようがんばっています」(ご担当者様)。さらには、今まで廃棄していたプラスチックのストレッチフィルムも、リサイクル業者を探して回収してもらおうなど、エコ意識はハイレベル。本当に頭が下がります! こうした同社の姿勢をお手本として、私たちもエコの推進に取組みたいと思います。



(上) ボランティアで清掃した道路。とってもキレイ! (左) アドプト・ロード・プログラム参加を示す看板。

ソフトバッグ

資材を入れて運搬するのに必要なソフトバッグ。廃プラを原料にした環境にやさしいエコソフトバッグの開発にも取り組んでいます。

●ソフトバッグについて

ご購入はネットショップの「ふくろ屋ふくなが」で!
「ふくろ屋ふくなが」<http://www.softbag.jp/>

PICK UP!



フクナガ社内のさまざまな話題をお届けするINFORMATIONコーナー。今回は新春特別企画として、代表取締役・福永政弘、常務取締役・野村景から読者の皆様へ新年のごあいさつをお送り致します。



代表取締役
福永政弘(ふくながまさひろ)

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、皆様にはひとかたならぬご愛顧を賜り誠にありがとうございました。本誌面をお借りして深くお礼を申し上げます。

私たちフクナガエンジニアリングは今年もますます環境ビジネスに進進してまいります。そして、環境をキーワードに皆様のお役に立てますよう今年も尽力いたします。

フェコニュースに関しましては、当社のお客様やご支援いただいている方々との距離を縮めるためにこの情報誌を始めさせていただきました。はや5年が経ちます。未だ、紙面の内容に未熟さや改善が必要と考えますが、フェコニュース製作スタッフは、毎回毎回心を込めて紙面作りに携わっています。今後ともフェコニュースを末永くご愛顧頂きます様お願い申し上げます。



常務取締役
野村景(のむらけい)

みなさま、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

今後とも皆様の役に立つ会社を目指して従業員一同がんばって参ります。引きつづき皆様からの応援をいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、個人的な今年の抱負は“34歳らしい34歳になる!”です。まあ...いろんな意味で。お見かけの際は「ほお、34歳らしくなってきたね」と声をかけてやってください。お願い申し上げます。

2008年も私たち、株式会社フクナガエンジニアリングをどうかよろしくお願ひ致します!



エコ百景 BANGAIHEN 番外編
E C O H Y A K K E I

今回の「エコ百景」は新春記念番外編! スタッフ・古川が、愛する家族とともに足を運んだエコな施設をご紹介します!

**遊んで学べるエネルギー体験施設
これぞ幸せが家のエコ百景(!?)**



Reporter
古川圭一
(ふるかわけいいち)

ぼくが家族とともに今回足を運んだのは、関西電力が運営する『EEパーク』。和歌山県御坊市にあるので、大阪からは少し遠いですが、家族で日帰り小旅行気分で行くと、実に楽しいものでした。

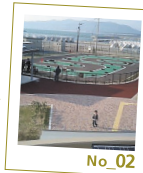
施設自体が完成して間もないことに加え、海岸沿いの立地なので、ここはとて風光がキレイ。園内には太陽光や水力、風力発電のしくみがわかる施設があるほか、実際に園内で得られる電力で動くカラクリもあるので、子どもも楽しめます。

そして一番のお目当てはソーラーカー。うちの子は身長制限で1人で乗れなかったのが幸いして、僕が子どもを上に乗せて運転しちゃいました。これ、思ったよりスピード感があるんですよ。大人の僕でも楽しめました! しかも乗車は無料! おかげで子ども2人×3回程度は遊びましたね。環境学習を兼ねて、ぜひ小旅行気分で行ってみてください。(古川)



No.01

入口ではクジラ型の風力発電機が迎えてくれます



No.02

広くてキレイな園内。海が近くて気持ちいい!



No.03

子どもと一緒に幸せエコドライブ!

EEパーク

和歌山県御坊市塩屋町南塩屋450-10(日高港企業用地内) ☎10:00~16:30(3月~10月は~17:00) 休月曜(月曜日が祝日の場合は翌日)・12/29~1/4 無料(問)関西電力PR館事務所/TEL 0738-20-9001



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30
TEL.06-6969-3647(代) FAX.06-6969-3611
E-mail feconews@ecosoft.co.jp

<http://www.ecosoft.co.jp>



※ISO14001登録取得範囲は本社のみです。

編集後記

明けましておめでとうございます。今号もお読みいただき、ありがとうございます。先日高野山へ観光に行ってきたのですが、地上よりも寒い山の中にあることを忘れて薄着で行ってしまったため、あまりの寒さに凍えました! でも、バスの中や通りがかりに会った人たちがとても優しく、心はほっぴり〜。寒さに負けず、一期一会の癒しの旅を只今計画中です。(長谷川)



再生100%用紙および、インクには大豆油を使用。